

第2回 伊勢市立小中学校適正規模化・適正配置基本計画策定委員会 議事概要

1 開催概要

- (1) 日 時 令和8年5月26日(火) 19:00～20:30
- (2) 場 所 小俣総合支所 2階会議室
- (3) 出席者 萩原 浩司委員 中野 温委員 山鹿 富生委員
大西 弘展委員 西城 宏樹委員 森井 順子委員
北岡 孝裕委員
- (4) 事務局 事務部長 濱口 学校施設整備課長 北村 同課主幹 森口
同課主幹 木村

2 議事概要

- (1) 開 会
- (2) 冒頭確認事項
- (3) 議 題

①伊勢市立小中学校適正規模化・適正配置基本計画骨子案について

【意見・質疑等】

- ・ 児童生徒数が減少している現状から、国の定める「望ましい学級数」(小中とも12学級以上18学級以下)の維持が困難なため、新たな基準として「必要な学級数」を設定し、基準を下回った場合は統合をするという認識でよいか。
 - 基準に満たなくなっても、すぐに統合を行うというわけではなく、児童生徒数の推移や施設の状況などを総合的に判断し、統合の検討を始めるという基準である。
- ・ 適正規模の基準については、同じような基準を設けている他の市町における、メリットや課題を参考にしてはどうか。
- ・ 改定される基本計画に期限を設けてはどうか。
- ・ 検討契機について、どのように当てはまったら統合を検討するのかが分かりにくい。
 - 学校規模及び学校施設の状況における、4項目の検討契機の内、1つでも当てはまった場合に検討を開始する。記載内容は工夫する。
- ・ 当面の間、施設の改築等に伴う統合はないのではないか。
 - 今のところ予定はないが、今後そのような状況になった場合に検討を開始する。
- ・ 現行計画にある第2期の実施計画については、新しい基準をもとに、どのように取り扱うかを考える必要がある。
- ・ 第2期の実施計画など、かなり先の統合を具体的に示すと、これまでも住居購入など生活への影響があった。統合の取組を具体的に進める段階で明記してもよい

のではないかな。

- ・ 第2期の実施計画を見直すと疑問に感じる人もいると思われるため、見直す理由について明記してはどうか。

→他の市では、学校ごとに将来の児童生徒数を明示しながら具体的な取組を記載しているところもあるので、参考にしたい。

- ・ この改定案に期間を設けるのであれば、統合予定の学校の有無を明記し、有の場合は、どのようなパターンが想定できるのかを載せてはどうか。